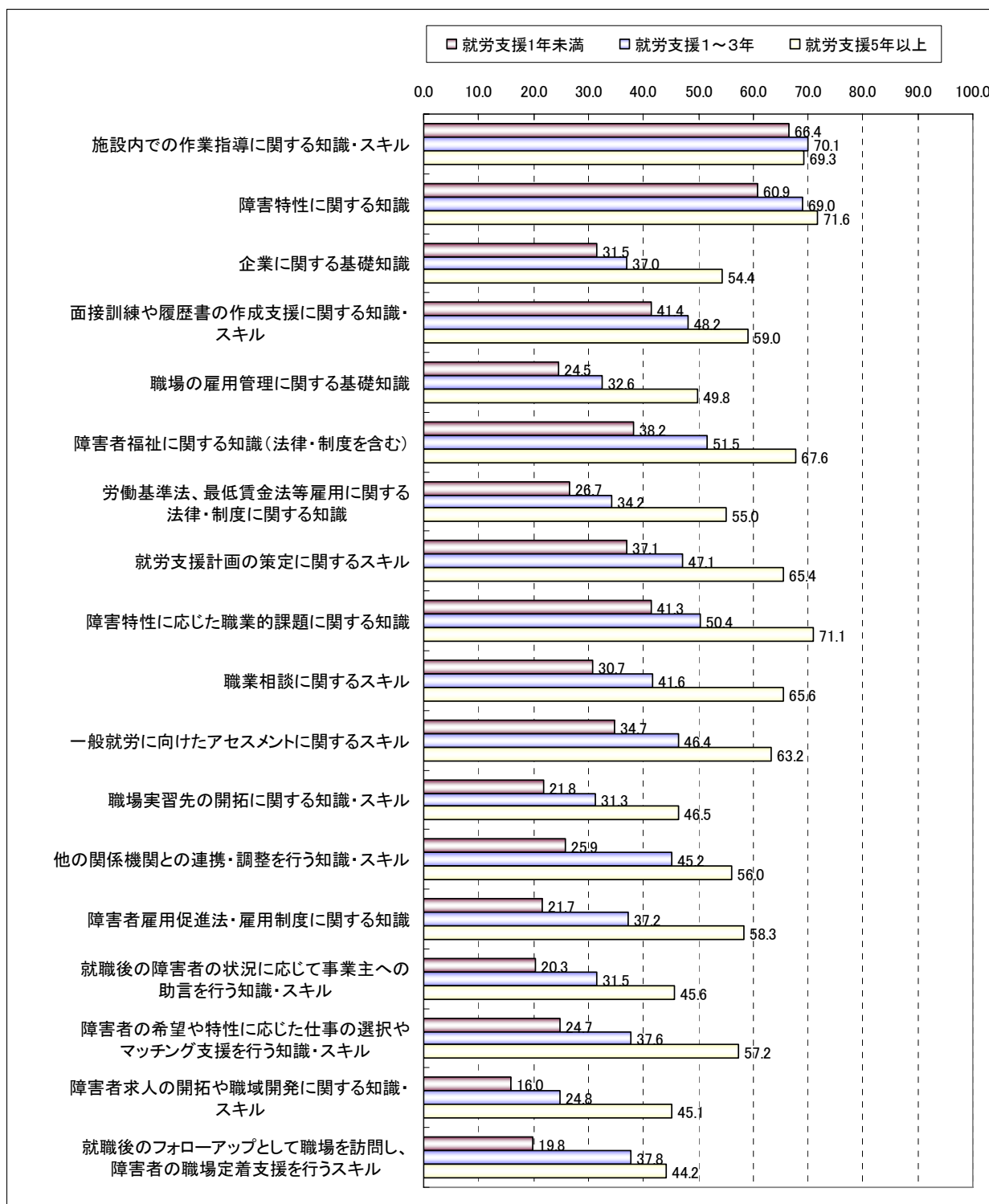


### <就労支援経験別の就労支援知識・スキルの習得状況>

就労支援員から、就労支援の経験により「1年未満(n=249)」、「1～3年(n=228)」、「5年以上(n=98)」の3グループを抽出し、分析を行った。

就労支援知識・スキルが自分に備わっているかについて「ある」又は「少しある」と回答した者の割合を集計した結果は下表のとおりとなった。経験が浅い者は施設内作業指導と障害特性に関する知識・スキルが不足している一方で、経験が高くなるにつれ、全般的に就労支援の知識・スキルの修得度は上がるが、求人開拓や定着支援に関しては、経験が長い者でも半数以上が不足していると回答していた。

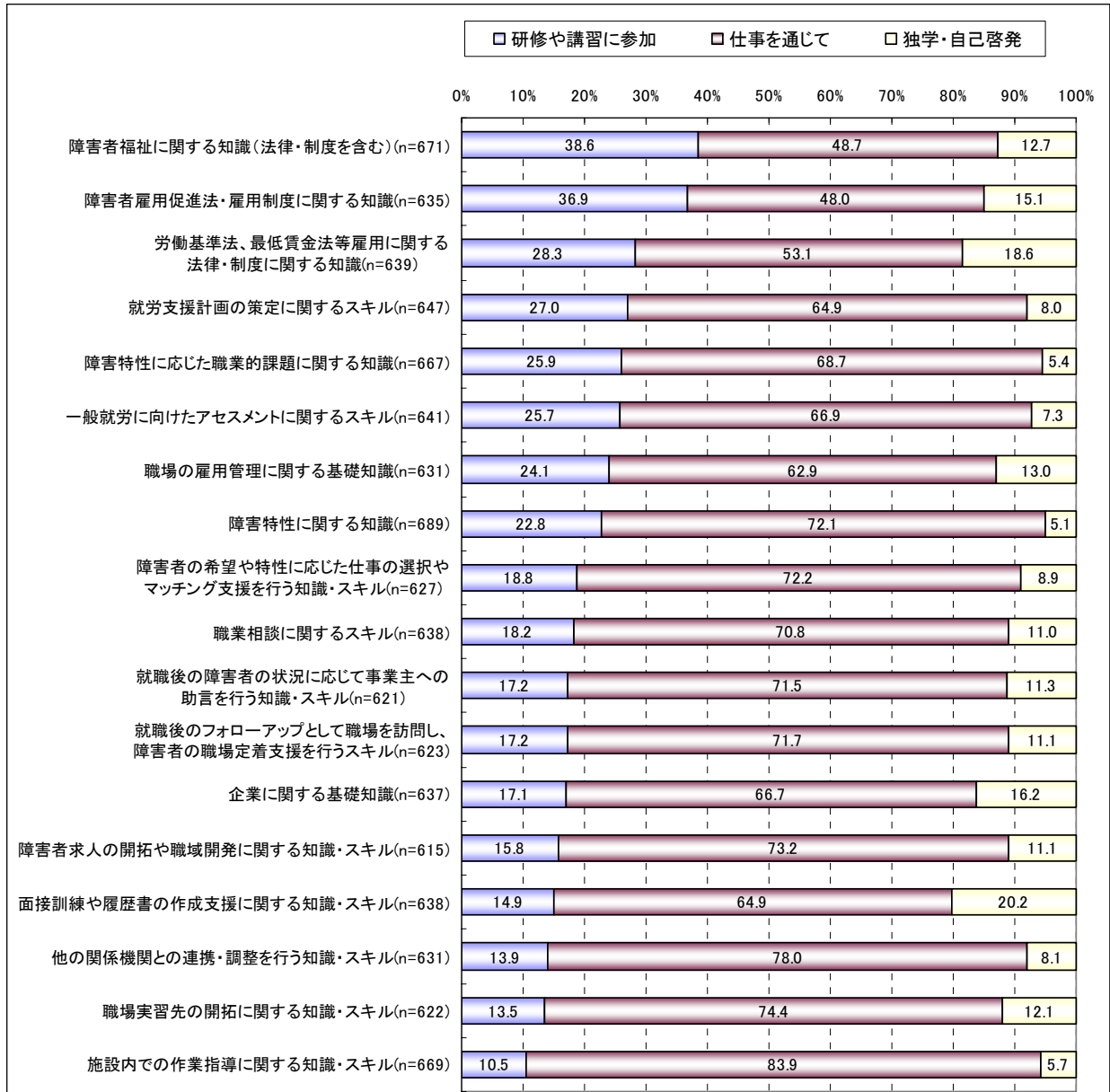
【図表 2-28 就労支援経験別の就労支援知識・スキルの習得状況】



#### ④就労支援知識・スキルの習得方法

就労支援員として活動する上で、就労支援に関する知識・スキルをどのように身につけたか最も効果的な手段について質問したところ、全般的に「仕事を通じて」と回答した者の割合が多かったが、障害者福祉、障害者雇用制度、労働関係法規等については「研修や講習会に参加」して習得したと回答した者が他の項目に比べて多かった。

【図表 2-29 就労支援知識・スキルの習得方法】



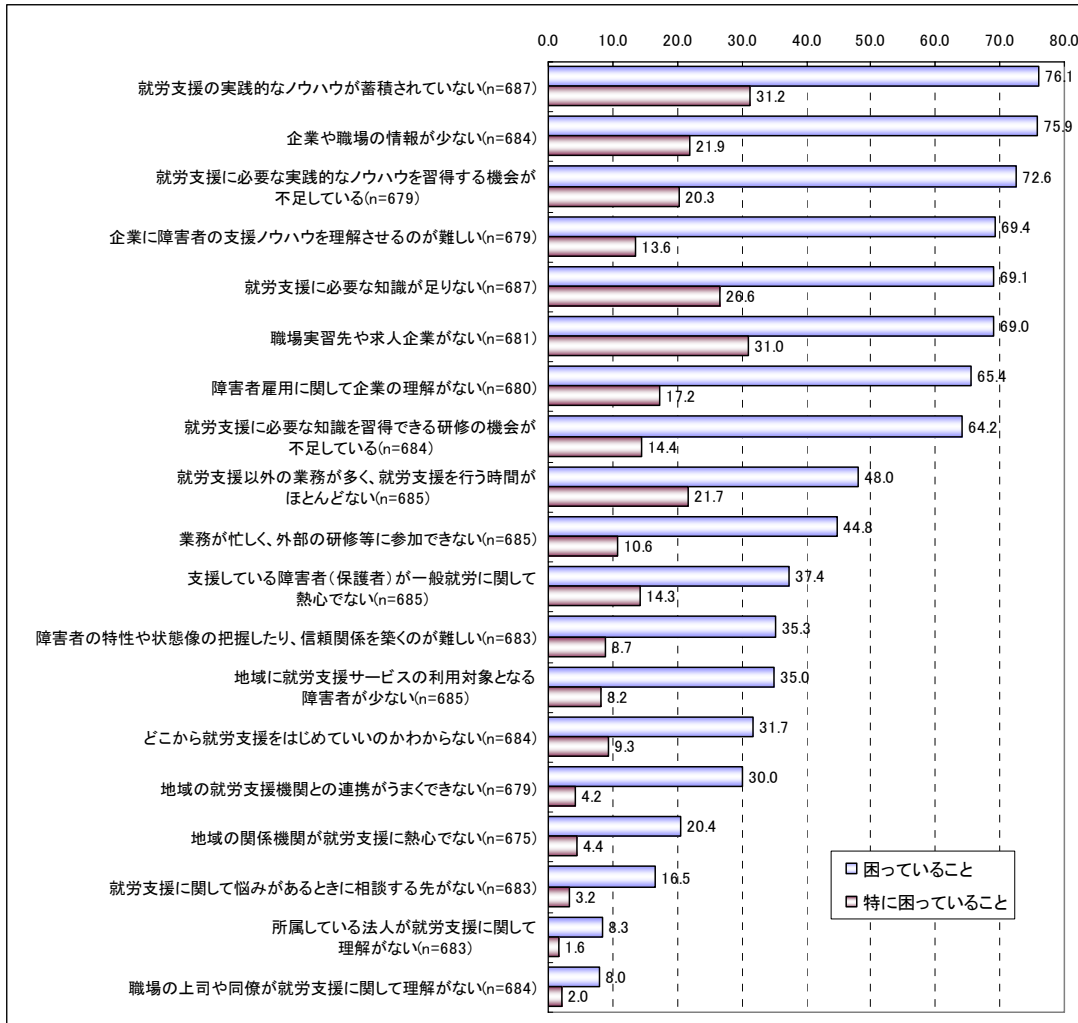
### ⑤就労支援業務を行う上で困っていること

一般就労に向けた支援にあたり、困っていることについて質問したところ、「実践的なノウハウが蓄積されていない」、「習得する機会がない」といった就労支援スキルの問題と、企業に関する項目で困っていると回答した者の割合が高かった。

また、特に困っていることについて上位3つまで選択してもらったところ、順に、「就労支援の実践的なノウハウが蓄積されていない」、「職場実習先や求人企業がない」、「就労支援に必要な知識が足りない」を選んだ者が多かった。

【図表 2-30 困っていること】

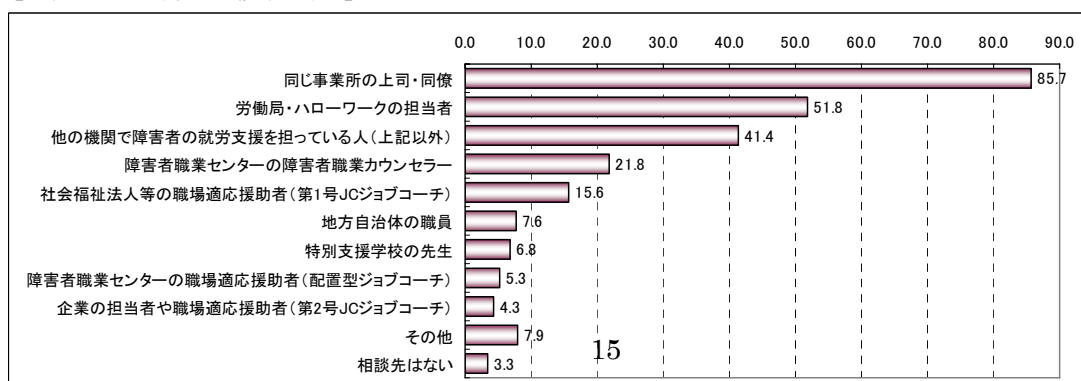
※困っていることは、はい/いいえの二択(nは項目右)、特に困っていることは、3つまで複数回答(n=686)



### ⑥困った時の相談先

一般就労に向けた支援にあたり、困ったときの相談先について質問をしたところ、同じ事業所の上司・同僚が最も高く、続いて労働局・ハローワークの担当者、他の機関で障害者の就労支援を担っている人の順であった。

【図表 2-31 相談先(複数回答)】(n=693)

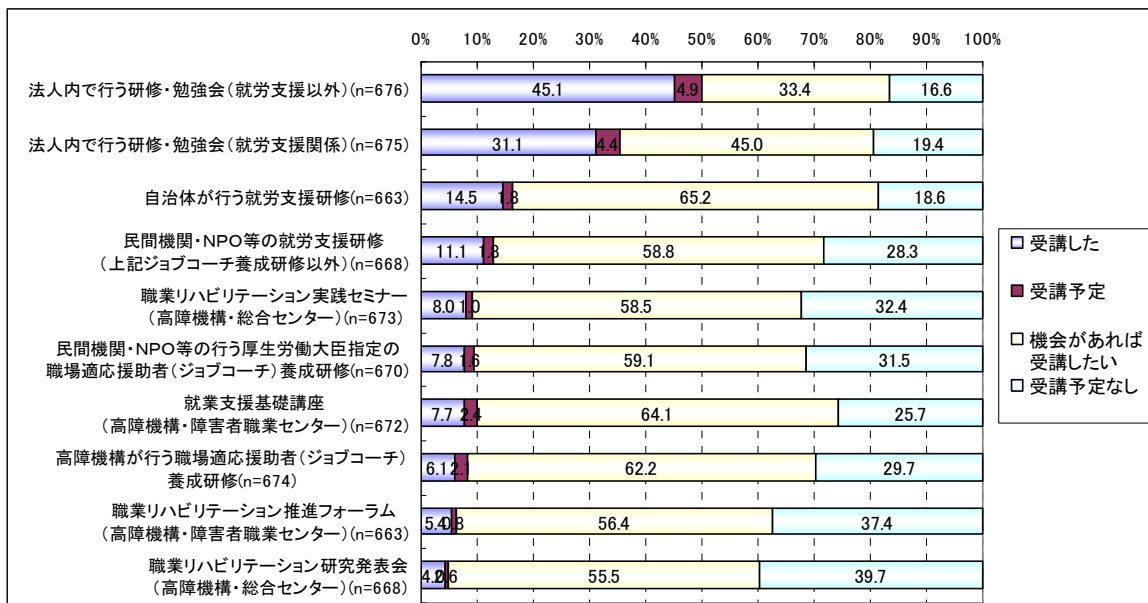


### (3) 研修

#### ①就労支援に係る研修の受講状況

就労支援に係る研修の受講状況について質問したところ、法人内の研修の受講経験は3～5割あったが、それ以外の研修の受講経験は低かった。

【図表 2-32 研修の受講状況】



#### ②就労支援に係る研修の受講希望

就労支援を行うに当たって、受講したい研修プログラム等について質問をしたところ、就労支援に関する専門的な知識や支援スキル・技術を習得する研修への希望が高かった。

【図表 2-33 研修の受講希望】

